

ゴボウの栽培について

ゴボウはキク科の直根類の野菜です。食物繊維が豊富なヘルシー野菜で、ダイエットが注目される現代では、食品として重要な位置を占めるようになってきました。



栽培暦

月旬	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作業項目				タネまき								
					追肥							
							収穫					

1. 土づくり

ゴボウは、可食部である根の長さが1m以上になる品種もあるので、できるだけ土を深く耕し、苦土石灰を1㎡当たり200g施し、ゴボウの長さの深さまで耕します。

2. タネまき

タネまきは、4～5月が適期です。植え場所に幅40～50cmの畝を立て、株間10～15cmとって1カ所に6～7粒のタネをまきます。ゴボウのタネは発芽しにくいので、あらかじめ1晩水に浸けておくと発芽の揃いがよくなります。さらに、覆土は薄くして、たっぷりと水やりします。

3. 水やり

タネが発芽するまでは、乾かさないように水やりします。発芽後は、土が乾いたら十分に水やりしましょう。

4. 間引き・土寄せ

本葉1～2枚のころに間引いて、2本立ちにします。間引きが終わったら、軽く土寄せしましょう。

本葉3～4枚のころに1本立ちにし、また土寄せしておきます。さらに本葉5～6枚のころにも、株元へ土寄せしておきましょう。

5. 追肥

肥料切れを起こさせないように、3カ月に1回、粒状肥料を1㎡当たり120g、土の上にばらまいて追肥します。

6. 収穫

葉が枯れ始める12月ごろが収穫適期ですが、10月下旬から掘り始めができ、3月まで収穫可能です。



ゴボウ

私をご紹介します！



中部営農センター
金澤 達典
(営農指導担当)

